

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
教育実習（1年後期5日間・2年前期15日間）	1・2	1年後期 2年前期	実習	4	笠野恵子、大迫千佳子
<p>○実習の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育の場としての幼稚園のあり方やそこで活動する幼児の様子から、幼児の発達過程と幼児が主体的に活動する幼児教育のあり方を追求する。 ・ 幼児理解を一層深めて幼児が主体的に活動する指導計画を作成し、実践することを通して、環境を通して行う幼児教育のあり方を追求する。 					
<p>○実習の概要</p> <p>○実習内容は、幼児の様子と幼稚園のあり方を中心に、次の事項を取り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園の役割について、体験を通して理解する。・ 幼稚園の1日の流れを理解し、保育に参加する。 ・ 幼児の観察やそれとの関わりを通して、幼児の発達過程を理解する。・ 担任等の指導の下に自分で指導計画を作成し、実践し、評価することを通して指導の内容と方法を学ぶ。・ 職員間の役割分担とチームワークについて理解する。・ 家庭や地域社会に対する子育て支援や預かり保育について理解する。 ・ 保育者の職業倫理を具体的に学ぶ。・ 疾病予防及び安全対策について具体的に学ぶ。・ 幼稚園とその他関係機関との連携について学ぶ。・ 実習前後の事務処理を通して迅速正確な処理能力を高める。 					
<p>実習における到達目標の計画</p> <p>(1) 実習は、見学実習、観察実習、参加実習及び責任実習とし、次の具体的な目標の達成を目指す。</p> <p>○見学実習・観察実習の具体的な目標 ・ 幼稚園の沿革・教育方針・運営等について理解する。・ 園長、主任及び教諭等の業務内容を理解する。・ 保育の1日の流れ（預かり保育を含む）を理解して保育に参加し、生活のリズムを体得する。・ 担任の助手的立場で子どもが主体的に活動できるように環境や施設設備の整備をしたり、生活や遊びを指導したり、安全への配慮を行ったりする。・ 担当教師に承認された範囲で直接子どもの遊びに加わったり、保育活動の一部を分担したりしながら、積極的に参加活動を行う。・ 幼児一人一人の遊びや集団の一員としての行動等を観察して、発達の様子や一人一人の特長を把握する。</p> <p>○ 参加実習の具体的な目標 ・ 幼稚園の沿革、教育方針、運営などについて理解する・ 園長や主任、教員等の業務内容を理解する・ 幼稚園と家庭・地域社会及び保育所・認定こども園・小学校との連携を理解する。</p> <p>○ 責任実習の具体目標 ・ 保育者としての態度、保育技能・技術を身につける。・ 担当教師の補佐として環境構成、教材の準備や後片付け、クラス運営の事務処理、その他 の業務を行う。・ 一人一人の子どもの個別指導を実践しながら、その具体的な指導技術の習得を図る。・ 担当教師等の指導や助言を受けて指導計画を作成し、それに基づいて実践し、指導方法や 指導技術を習得する。</p>					
<p>○テキスト 「実習の記録と指導案」ひかりのくに 「実習日誌の書き方」萌文書林</p> <p>○参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省、フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館</p> <p>○学生に対する評価 実習園による評価（60%）実習日誌（40%）などにより総合的に評価する。</p>					